

【活動報告】

< 下大和田での活動 > 写真：田中正彦

第 305 回 下大和田谷津田観察会とゴミ拾い 2025 年 6 月 1 (日) くもり後はれ 報告：鈴木郁也

この日はいつもの観察コースの他に、復田した田んぼや相川さんの畑まで足をのばしてみました。最近雨が多かったおかげか、大型カタツムリのミスジマイマイが活動している様子を観察することができました。

新たに復田した田んぼでは、ミナメダカやタモロコなど、Y P P 田んぼと同じ種類の生きものが見られましたが、まだまだいない生き物も多かったです。Y P P 側の水路や山では、オレンジ色の羽が美しいニホンカワトンボのオスと、かわいいサイズのヒバカリと出会えました。

参加者 12 名 (大人 6 名、大学生 5 名、小学生 1 名)



.....
第 16 回 下大和田ヘイケボタル観察会「ホタルの光を初めて見た日」

2025 年 6 月 21 日 (土) はれ 報告：Asa Okiru

これまで、浮遊する光の記憶といえば、子供の頃にバンコクで飛ばしたコムローイだった。空飛ぶランタンが、蒸し暑い夜の空に無数の光の粒となって浮かんでいた。

炎のように揺らぎながら、音も無く浮かび上がるヘイケボタルの光に、そんな昔の記憶が思い起こされた。日没からしばらくして、ぼつり、ぼつりと現れたその光は、しだいに数を増す。一本の木に集まって電飾のように見せるかと思えば、逃げもせず人の側まで寄って飛んだりもする。子供たちは、光を手で掬い上げるようにしてホタルを捕る。遠目に見るとやや青白く見え、しかし手に取るとケミカルな黄緑色に、腹の節が発光している。「蛍光色」とはよく言ったものだった。

帰り道、対向車のライトがやけに眩しい。観察中は、夜闇に目が慣れていたので気づく。うっすらとしか見えなかったお互いの表情も、興奮気味の話し声から読み取れた。環境が変わってしまっても、あの場にいた一人一人の心の中に在り続けてほしい光景だった。

参加者 18 名 (大人 13 名、大学生 1 名、中学生 1 名、小学生 2 名、幼児 1 名)



.....
森の手入れ「田んぼの草取りと畑の整備」 2025 年 6 月 22 日 (日) はれ 報告：平沼勝男

前日が夏至でしたが、それにしても朝から暑い。まだ梅雨のはずですが真夏のように。熱中症に気を付けながらの作業となりました。

復田田んぼは完全に干上がっていました。川の堰を直し再び水が入るようにしました。田んぼ周辺の草を刈り払い機で刈りました。すっきり田んぼに蘇りました。畑では、ラベンダー畑の雑草取りと、新たに綿の苗を 10 本近くうえました。森の中では刈り払い機で下草刈りをしました。観察会の経路や T 字路までの道路

際、水路際の畦の草刈りもしました。最後に全員でシイタケです。新しい楢木を井桁状に組み、日よけシートを付けました。

参加者 7 名 (大人 5 名、大学生 1 名、小学生 1 名)



< 小山町での活動 >

あすみが丘小学校田んぼ「田植え」 6 月 4 日 (月) くもり 報告：江澤芳江

あすみ小 5 年生が田んぼにやって来ました。前日までの雨で広場はぐちゃぐちゃでしたが子どもたちは元気いっぱい。田んぼに裸足で入る時も躊躇することなく入って泥ふみ開始！そして 1 列に並んでの田植えでは深いところもなんのそでドンドン植えていきます。たくさんのボランティアさんのサポートもあって田植えはスムーズに進みました。元気な 5 年生が植えた苗が元気に育ちますように。

第 236 回 小山町 Y P P 「田んぼの手入れ」 6 月 8 日 (土) くもり 報告：たんぼぼ

曇りですが蒸す陽気の中、根のはる草やつる草を取り除く人たちと、古代米の田植えをする人たちの二手に分かれて作業を行いました。じっくり育った苗はしっかりと立派な姿に生長していました。その苗たちは、

優しく、テンポよく植えられると、ほどなく水面に上手に並びました。やわらかな風に一斉にそよぎ、とても気持ち良さそう。この風景、いつまでも眺めていたい！と思いました。

このまま元気にスクスクと育ちますように。 参加者 8 名（大人 7 名、小学生 1 名）

大椎小学校田んぼ「草取り」 6 月 20 日（金）晴れ 報告：高山邦明

4 月の終わりに田植えをした田んぼの草取りに子どもたちが来ました。作業の前に田んぼの自然観察。オタマジャクシ～！ ヤゴ～！ きゃーっ、ヒル！と生きものを見つけた声が次々に上がり、観察トレーは生きものですぐにいっぱいになりました。草取りは稲の株の間を歩いて草を踏みつける方式。久しぶりの素足での田んぼに最初は恐る恐る、でもすぐに慣れてスイスイ進んでいました。終わった人は稲を植えてないフリースペースで泥あそび。腰まで泥に浸かって気持ちよさそうでした。ボランティアの皆さんは田んぼの周りの草刈りをしてくださいました。次に田んぼに来るのは 9 月の稲刈りです。それまでイネがしっかり育ってくれることを祈っています。

【谷津田・季節のたより】 2025 年 6 月

< 下大和田町 > 報告 平沼勝男

6/1 ウグイス、ヒクイナ、キビタキ、オオヨシキリ、外来生物のガビチョウも加わり谷津田は鳥たちの囀りでにぎやかでした。今年はオオヨシキリが多く感じられます。オオアオイトトンボが林内で葉にとまっていました。今年初めての確認です。林縁ではホタルブクロ咲き始めました。白いウツギの花も綺麗に咲いています。U 字溝ではヤマサナエのメスが産卵をしていました。

< 小 山 町 > 報告 た：たんぽぽ い：碓タ子 高：高山邦明

6/2 ホタルブクロが開花、ショウジョウトンボが田んぼに産卵（高） カワトンボが田んぼから次々と羽化（い） 6/4 渡りの途中と思われるメボソムシクイのさえずりが聞こえた、キイトンボが羽化（高） 6/5 畦にオオミズアオ（大きな白いガ）の羽根だけが落ちていた、ツユクサが咲く、田んぼからアキアカネが羽化（高） 6/8 林でミズキが花を咲かせる（高） 6/9 リスが 2 匹早歩き（た） 6/12 田んぼからマユタテアカネやノシメトンボが羽化（高） 6/13 リス横切る。野ウサギ背を伸ばしキョロキョロ（た） キビタキのオスとメスが餌をくわえて、“ヒッヒッヒッ”としきりに鳴く、巣立ちビナへの給餌か（高） 6/16 大きなアオダイショウ、道を横切る（た） キイトンボがつながって産卵（い） 枝谷津の田んぼで実にたくさんのカワトンボが羽化（高） 6/17 田んぼから羽化したカワトンボをシオカラトンボが捕獲（高） 6/18 久しぶりにモズの姿を見る（高） 6/23 キビタキ 2 羽、追いかけてこ（た） ハグロトンボの姿を今季初めて見る（高） 6/27 抱卵するメスのキジに会う。卵は 9 個、3 日後、巣には卵殻のみ、巣立ったのかな？（た） 羽化したマユタテアカネをシオカラトンボが捕獲（高） 6/28 ネムノキ満開（た） アシ原にオオヨシキリの幼鳥の姿（高） 6/30 ナツアカネが羽化（高）

【イベントのお知らせ】主 催：NPO 法人 ちば環境情報センター

< 下大和田谷津田 > 連絡先：小西 TEL.090-7941-7655 , E-mail : yatsudasukisuki@gmail.com

・お楽しみ会

日 時：2025 年 7 月 26 日（土） 10 時 00 分～12 時

内 容：普段活動している谷津田で、魚採りやザリガニ釣り、フィールドビンゴなどを楽しみます。

持ち物：長袖長ズボンの服装、運動靴、軍手、帽子、飲み物、午後まで活動する方は弁当、敷物

・第 307 回 観察会とゴミ拾い

日 時：2025 年 8 月 3 日（日） 9 時 45 分～12 時 雨天決行

内 容：こどもたちの大好きなカブトムシやクワガタムシ、トンボやセミなど夏の虫の季節です。真夏の太陽の下、都市部よりちょっぴり涼しい木々の森と谷津を巡ります。

持ち物：筆記用具、飲み物、長靴、帽子、ゴミ袋、敷物 参加費：100 円

7～8 月の「森と水辺の手入れ」と「森の手入れ」は猛暑のため実施しません。

< 小山町谷津田 >

▼第 237 回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

日 時：2025 年 7 月 12 日（土） 9 時～11 時 小雨決行

場 所：小山町谷津田

参加ご希望、その他の問い合わせは、ceic.ypp.oyama@gmail.com までお気軽にメールでご連絡下さい。